１．教育計画

分野	専門基礎分野 　疾病の成り立ちと回復の促進	科目名	疾患がわかるⅠ （呼吸器疾患）
単位・時間	循環器、心臓血管外科と合わせて １単位・30 時間	対象学年	２年生
方法	講義	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	鶴岡　一（12 時間）		
学習目標	呼吸器機能に関する特徴的な病理と診断基準及び治療について学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院：専門分野Ⅱ　成人看護学（2）呼吸器		
参考文献			
履修上の留意	初講前に解剖生理学の振り返りをしておくこと。		
講師からの メッセージ	やる気、元気、呼吸器！呼吸器とは何か一緒に理解を深めましょう。		

２．授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	呼吸器の機能と構造	肺・気管・気管支の構造 気道のクリアランス、縦隔の構造 呼吸の生理（呼吸調整、換気運動、ガス交換、酸塩基平衡）	講義	
2	2	感染症	肺炎（症状・検査・治療） フィジカルイグザミネーション 検査結果の見方	講義	
3	2	気道疾患	気管支喘息（症状・検査・治療） 慢性閉塞性肺疾患（症状・検査・治療）	講義	
4	2	胸膜の疾患 間質性肺疾患 肺腫瘍	気胸（症状・検査・治療） 胸腔ドレナージ 間質性肺炎（症状・検査・治療） 良性・悪性腫瘍 肺がん（症状・検査・治療）	講義	
5	2	現場の実際	呼吸器看護の実際（ＮＰより講話）	講義	
6	2	医療機器の管理	人工呼吸器（NPPV） ネーザルハイフロー 吸入療法 モニター管理（SPO_2、ＰＴＣO2 等）	演習	
7	2	評価	筆記試験	講義	